

HEART to HEART



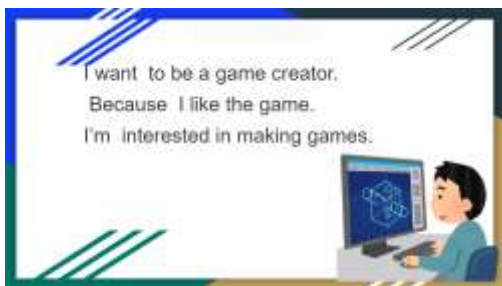
令和5年3月8日(水)発行

令和4年度が間もなく終わります。子どもたちはこの1年間でいろいろな知識を身に付けたり、経験したりして成長してきました。今回は、これまでの学びを生かした5、6年生の授業についてお知らせします。

「What do you want to be?」 (6年 外国語科と関連付けた総合的な学習の時間)



2月10日(金)の授業参観で総合的な学習の時間の発表を行いました。「夢実現教室」という学習で、自分の将来の夢について考え、どのような仕事内容であるか、どんな資格、資質・能力を必要とするのかを調べて、そのために今何を頑張るのかについて発表しました。また、外国語の授業で「What do you want to be?」の学習も行っていたので、関連させて英語で発表する場も取り入れました。「What do you want to be?」の授業では、なりたい職業とその理由を言って、将来の夢を発表することが目標でした。なりたい職業は「I want to be a/an～」で発表し、理由は「I like～」や「I'm good at～」などを活用して発表することができました。



原稿を作る時や発表の練習を繰り返す中で、「自分の将来の夢は英語にするとこんな言い方になるのか。」「なりたい理由を英語にするのって難しいな。」といった気づきを得る児童が多かったです。一人一人が英語での自分の将来なりたい職業や理由の言い方に慣れ親しみ、当日は自信をもって堂々と発表することができていました。

きよきたふれあい楽習 (5年 ことばの時間)

5年生は、きよきたふれあい楽習ですてきな俳句にするコツを考えながら「伝え合う楽しさ」を味わう活動をしました。

「雪だるま ()をつけてお友達」()の中にはどんな言葉が入るでしょう。という課題に対し、個人、グループで意見交換をして様々な考えにふれました。「名前」という結果に「そうか」と顔を見合わせて納得する様子。

このように課題(俳句)について考えたことを相手に伝えたり、なぜそう思ったかを問い返したりして、着眼点の面白さや俳句の中での表現法について学んでいきました。最後は「さかあがりやとどきたようれしいな」の俳句に季節を感じる言葉を入れてより素敵な俳句にする課題です。桜色、夏休み、かじかむ手等、思い思いの表現が飛び交い、一人一人の考えを知る楽しさを感じると同時に俳句への関心をもつことができました。

保護者の皆さんからも「子どもたちの柔軟な考えを聞けてよかった」「一人一人の意見を大切にしていた」と感想をいただきました。自分の気づきを積極的に述べ合い高め合う場面が多く見られた、実のある時間となりました。今後、自分だけの発見や驚いたこと等をどのように伝えようかと、楽しみながら俳句づくりに取り組むことを期待しています。

